



機構について

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2002年放送分](#) > 8月17日放送分 産地復活を目指す！愛媛・今治タオル

## 8月17日放送分 産地復活を目指す！愛媛・今治タオル

17日(TX・TVO)

18日(TVA・TVH・TVQ・RCC)

19日(BSJ)放送

国内のタオル需要に対して輸入品の割合は年々増加。

主要生産地の愛媛県今治市においても厳しい状況であり、池内タオル(株)(資本金1,000万円、従業員25名)は、QR推進の中核となって、取引先・生産企業を含む会社をネットワークで結び情報の共有化を行った。

生産日数の短縮、市場情報に基づく商品提供を可能にさせた同社の取組みを紹介する。

### 産地復活を目指す！愛媛・今治タオル

- [視聴覚教材No. TV14-20](#)
- [動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



「池内タオルの池内社長」

今治は、日本最大のタオル産地。

しかし、10年ほど前から中国の輸入商品に押され、苦境に立たされている。

タオル製造には、13～14もの工程があり、其々を専門の会社が受け持つ。  
生産時間を短縮させようと、QRを導入！([QR](#)について詳しくは[コチラ](#))

POINT: 生産にかかる時間を45日から21日に





「大和染工(タオルの原料になる糸を染色する会社)にて」

### ●● 経営戦略 その1 ●●

生産の情報を共有化することで、顧客のニーズにより早く応える。

ニューヨークで開かれたショーで、新作タオルがグランプリを受賞。  
アメリカの小売店との契約にも成功。

POINT: 世界をターゲットにした販売を目指す



会社ごとに異なっていた伝票を一本化することで、そのつど書き替えるという無駄を省く。  
体となり生産ロスを軽減！



「瀬戸内海の色を織り込んだ新作タオル」

### ●● 経営戦略 その2 ●●

オリジナルブランドによる商品の開発

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN